

CLIによるCCMトレースの収集

内容

[概要](#)

[背景説明](#)

[概要](#)

[それは何に役立ちますか？](#)

[前提条件](#)

[コンポーネント](#)

[ファイルの収集](#)

概要

このドキュメントでは、Real-Time Monitoring Tool(RTMT)アプリケーションにアクセスできない場合に、サーバのオペレーティングシステム(OS)のコマンドラインインターフェイス(CLI)を使用して、Cisco CallManager(CCM)トレースを収集する方法について説明します。

著者：Cisco TACエンジニア、Christian Nuche

背景説明

概要

CCMトレースは、コール制御プロセス (Cisco CallManagerプロセス) が生成するログで、これらを *detail* に設定して、必要な情報を収集するために適切なチェックボックスが有効になっていることを確認します。

それは何に役立ちますか？

これは、コールルートの問題、他のシステムとの相互運用性、SIPまたはSCCPの問題、GW関連の問題など、システム上のさまざまな問題のトラブルシューティングに役立ちます。これらは基本的に、CUCMが要求を受信または実行するときに内部的に何をするかを示します。

前提条件

コンポーネント

- CUCMのOS管理者パスワード
- putty(<http://www.putty.org/>)などのセキュアシェル(SSH)クライアント

- FreeFTPd(<http://www.freesshd.com/?ctt=download>)のようなSecure File Transfer Protocol(SFTP)サーバを使用して、FreeFTPdを設定および使用方法の詳細については、[次を参照してください。ユニファイドコミュニケーション用のFreeFTPの設定方法](#)

ファイルの収集

ステップ1:Puttyを開き、CUCM CLIにログインします

注：トレースを収集するすべてのサーバで同じ手順を実行する必要があります

ステップ2：ファイルを確認するには、file listコマンドを使用する必要があります。

ファイルリスト{ activelog | inactivelog | install } file-spec [page |詳細 | reverse] [date | size]

*ファイルの場所は次のとおりです。

activelog cm/trace/ccm/sdl/SDL*
activelog cm/trace/ccm/calllogs/calllogs*
activelog cm/trace/ccm/sdi/ccm* (CUCM 7.x以前)

他のタイプのファイルをダウンロードする必要がある場合は、次の場所にファイルの場所の便利
なリストがあります。 CLIでのCommunications Manager RTMTトレースの場所

[https://supportforums.cisco.com/document/65651/communications-manager-rtmt-trace-locations-
cli](https://supportforums.cisco.com/document/65651/communications-manager-rtmt-trace-locations-cli)

例

file list activelog cm/trace/ccm/sdl/SDL* detail

```
admin:
admin:file list activelog cm/trace/ccm/calllogs/calllogs* detail
20 Jan,2017 11:56:03          5,750  calllogs_00000001.txt.gzo
28 Dec,2016 12:16:43          50    calllogs_~num.bin
dir count = 0, file count = 2
admin:
admin:
admin:
admin:file list activelog cm/trace/ccm/sdl/SDL* detail
23 Jan,2017 10:36:18          34    SDL001_100.index
27 Dec,2016 15:40:38       1,582,749  SDL001_100_000001.txt.gz
27 Dec,2016 17:06:51       1,600,498  SDL001_100_000002.txt.gz
27 Dec,2016 18:33:04       1,593,992  SDL001_100_000003.txt.gz
```

これは、日付、時刻、サイズ、ファイル名を示します。この情報に基づいて必要なファイルのみをダウンロードするか、フォルダ内のすべてのファイルを収集できます。

ステップ3:file getコマンドを使用してファイルをダウンロードします。

```
file get {activelog | inactivelog | install } file-spec [ reltime | abstime ] [ match regex ] [recurs] [compress]
```

例

```
file get activelog cm/trace/ccm/calllogs/calllogs*
```

このコマンドは、フォルダ内のすべてのファイルをダウンロードし、SFTPサーバの詳細を求めるプロンプトを表示します。WindowsベースのSFTPサーバではバックスラッシュ(\)を使用し、LinuxベースのSFTPサーバでは次を参照してください。

```
admin:
admin:file get activelog cm/trace/ccm/calllogs/calllogs*
Please wait while the system is gathering files info ...
  Get file: /var/log/active/cm/trace/ccm/calllogs/calllogs_00000001.txt.gzo

  Get file: /var/log/active/cm/trace/ccm/calllogs/calllogs_~num.bin
done.
Sub-directories were not traversed.
Number of files affected: 2
Total size in Bytes: 5800
Total size in Kbytes: 5.6640625
Would you like to proceed [y/n]? y
SFTP server IP: 10.152.196.57
SFTP server port [22]:
User ID: cisco
Password: *****
Download directory: \

The authenticity of host '10.152.196.57 (10.152.196.57)' can't be established.
RSA key fingerprint is bf:1c:9e:60:bd:24:aa:fb:21:06:a7:65:16:51:e0:e3.
Are you sure you want to continue connecting (yes/no)? yes
..
Transfer completed.
admin:█
```

.gzoファイルが、ダウンロード時に開いていたファイルであれば、おそらく開くことができなくても、残りのファイルは7-zip (<http://www.7-zip.org/>)で解凍できる.gzでなければなりません。

```
admin:file list activelog cm/trace/ccm/calllogs/calllogs*
calllogs_00000001.txt.gzo          calllogs_00000002.txt.gz
calllogs_00000003.txt.gz          calllogs_00000004.txt.gz
calllogs_~num.bin
dir count = 0, file count = 5
```

gzoファイルを開く必要がある場合、CLIコマンドfile viewを使用してパス全体を使用し、ファイル名を含めることができます。この場合は、出力をコピーし、メモ帳++などのUnixの行の終わりをサポートするテキストエディタに貼付けます

```
admin:
admin:file list activelog cm/trace/ccm/calllogs/calllogs*
calllogs_00000001.txt.gzo          calllogs_~num.bin
dir count = 0, file count = 2
admin:
admin:
admin:
admin:file view activelog cm/trace/ccm/calllogs/calllogs_00000001.txt.gzo

2016/12/28 12:16:43.440|SIPL|0|TCP|IN|10.122.141.60|5060|SEP00EBD5DA106E|10.88.2
49.90|52925|1,100,14,12.693^10.88.249.90^*|18201|00ebd5da-106e0004-4d7323e2-6966
9318@10.88.249.90|INVITE
```

任意のLinuxボックスを使用してコンテンツを取得することもできます。この場合は、コマンド zcat <filename>を使用します

```
[root@cmlabmex calllogs]# ls -l
total 12
-rw-r--r--. 1 ccmbase ccmbase 5750 Jan 20 11:56 calllogs_00000001.txt.gzo
-rw-r--r--. 1 ccmbase ccmbase  50 Dec 28 12:16 calllogs_~num.bin
[root@cmlabmex calllogs]# zcat calllogs_00000001.txt.gzo
2016/12/28 12:16:43.440|SIPL|0|TCP|IN|10.122.141.60|5060|SEP00EBD5DA106E|10.88.2
49.90|52925|1,100,14,12.693^10.88.249.90^*|18201|00ebd5da-106e0004-4d7323e2-6966
9318@10.88.249.90|INVITE
```

ステップ3：必要なファイルをすべて入手したら、zipファイルを作成し、ダウンロードしたファイルを含むすべてのフォルダを追加してから、ケースファイルアップロードツールを使用してTACケースにアップロードします。 <https://cway.cisco.com/csc>

ステップ4：作業しているTACエンジニアにファイルをアップロードしたことを通知します。

ヒント：関連するデバイスのIP、MAC、ホスト名、テスト/イベントの日時、送信元と宛先の番号（該当する場合）、および発生した内容の詳細な説明を追加してください。TACエンジニアが何を探すべきかわからない場合は、検索が困難になり、検索に多くの時間がかかるため、その情報を含めてください